



## 環境モデル都市下川町

地球温暖化が世界的に深刻化する中、日本は世界を先導する「低炭素社会の構築」を目指すこととし、大幅な温室効果ガスの削減に積極的に取り組む自治体を「環境モデル都市」として、北九州市・横浜市・富山市・水俣市・帯広市・下川町の6都市を認定しました。(現在7都市が追加され13都市)

下川町は、これまで積極的に取り組んできた森林の総合的な利活用と地域住民との協働運動、都市・企業との協働・連携を促進させ、森林・林業を中心とした地域産業の振興と快適な生活環境創造を結び、地域経済の活性化を図りながら温暖化対策を促進させ、低炭素な社会の構築を目指しています。

「環境モデル都市」の具現化に向けた取り組みを何点かご紹介します。

## 森林バイオマス利活用

森林バイオマスの利活用として、山に捨てられる林地残材など未利用な資源を集積する木質原料施設の整備とともに木質バイオマスボイラーによる地域熱供給システムの構築を構築しました。

さらに近畿大学と連携により、遊休地に自生するイタドリを活用した次世代型バイオマスエネルギーであるバイオコースのモバイル型製造機及び小型ボイラーの研究開発に取り組む、現在地元農家の協力により燃焼の試験を実施しています。

### 【環境保全型地域づくり推進支援事業】



町有林 木材集積地 木質原料製造施設整備 地域熱供給施設 (木質ボイラー)



### 【低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業】



自生するイタドリ



自然乾燥



モバイル型製造機



バイオコースボイラー



トマトプランター栽培

## ゼロカーボン住宅の促進

下川町では、「森林づくり」から「住宅づくり」までの一貫したシステムの構築を目指しており、地域材の活用による木材の輸送に係るCO<sub>2</sub>の排出削減や断熱性能の向上を、木質燃料の活用などにより、ゼロカーボン住宅を推進しています。

## 【環境共生型(エコハウス)モデル住宅の整備事業】



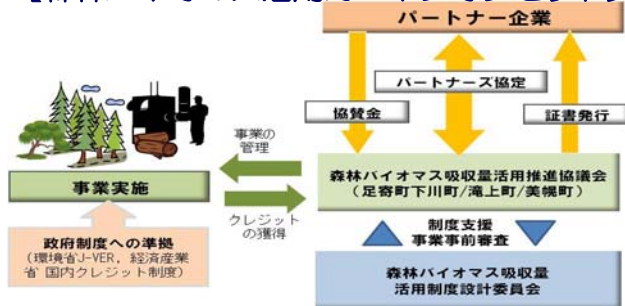
環境省の支援により、ライフスタイル全体で環境負荷の低減が可能な住宅設計手法を活用した「環境共生型モデル住宅 美桑」を整備しました。下川町産の木材（FSC 森林認証）、地元の職人の技術による高气密高断熱機能を有した環境負荷低減住宅 美桑の建設により、宿泊体験などを通じた住宅環境対策の普及啓発活動を展開しています。

また、国産材の活用促進に向けて都市と山村の新たな連携として、東京都港区が全国に先駆けて検討を進めている「みなとモデルCO<sub>2</sub>固定認証制度」において、「森と水ネットワーク会議」に参加する23自治体とともに下川産のFSC 森林認証材の利活用を進めています。

## 森林の新たな価値創造

森林の新たな価値を見出すため、自治体レベルでのCO<sub>2</sub>吸収量取引を全国に先駆けて提案し、1997年に議決された京都議定書を背景として、7年間にわたり森林を活用したカーボンオフセット制度を研究。その間、他の山村地域に呼びかけを行い、現在、森林バイオマス吸収量活用推進協議会（足寄町・下川町・滝上町・美幌町）を設立しました。環境省が所管する「オフセット・クレジット制度（J-VER制度）」による森林吸収クレジットの発行に至りました。このクレジットを活用し、パートナーズ企業との協定締結が進んでおり、既に一般社団法人モアトゥリーズ、(株)ジェーシービー、社団法人日本野球機構、(株)伊豆倉組の4団体とパートナーズ協定の締結を行い、長期にわたって共に地域の活性化に資する活動を継続させていく関係を築いています。

## 【森林バイオマス活用カーボンオフセット実証】



more treesとの協定



(株)JCBとの協定



日本野球機構との協定

### パートナー企業・団体との協定

- H21.4.20 more trees(代表坂本龍一)と基本調印
- H21.8.10 (株)JCBと基本協定調印
- H22.3.11 日本野球機構と基本協定調印
- H22.3.30 (株)伊豆倉組と基本協定調印

## おわりに

基幹産業の低迷や人口の減少、そして少子・超高齢社会の到来など多くの課題を抱える中、私たちは地域の最大の資源である森林を活用する仕組みづくりを進め、低炭素な社会構造の転換を図ろうとしています。

これまで先人が築き上げた地域資源を循環させ、新たな資源価値を創成し、農山村が持つ役割や価値の発信力を高めることで都市や企業との新たな連携を生み出すこととなります。

現代の社会は、特に都市や企業に対して低炭素社会への変革を求めており、社会的責任や高次の社会貢献をもとに地球環境への配慮がなされなければならず、そのことにより森林への環境価値の理解が深まり、地方の役割が明確となります。

下川町では、森林整備・保全活動等を通して、森林バイオマス活用、カーボンオフセット、森林環境教育、プラチナ企業の森づくり、森林のエコツーリズムなど都市・企業とのマッチングの拠点づくりを進め、環境対応度を協働で高める日本のモデル地域を目指します。